

# Carbon Negative & Nature Positive Hisayama 2050

プロジェクト名

## カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブのまちづくり

久山町とは

町の誕生から今日に至るまで、「国土」「社会」「人間」の3つの健康づくりをまちづくりの基本理念として継承してきました。その結果、人口は9,300人で、豊かな森林と田園風景、人々の温かなつながりを残す、自然と産業と暮らしが調和した町を築いてきました。基本理念は、今後も普遍的な思いとして継承しながら、第4次久山町総合計画（2022.04-2032.03）の将来像には「だれもが生き生きと暮らせる健康田園都市の実現」を掲げ、半世紀の礎を生かしたまちづくりを推進します。

プロジェクトの目的

本町は2022年3月、「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ」を宣言しました。最大の目的は「持続可能な」脱炭素社会の実現です。CO<sub>2</sub>削減のために森林面積や耕地面積が増加すれば、一時的な効果はあります。しかしながら、未来にも継承していくためには、自然資源を暮らしの中で消費するしくみづくりが必要不可欠であると考えています。自然のもつ本質的な力に目を向け、住民と行政、そして企業など、社会に関わる私たち一人一人が役割分担しながら未来にバトンをつないでいきます。

プロジェクトのコンセプト

### 木からはじまる、まるごと SDGs

すべての事業が木（自然資源）からはじまる  
SDGsの17の目標を包括的に推進することに寄与します。

### 未来へつなぐ、循環モデル

循環の必須要素は大きく3つの分野、「生産」「消費」「人づくり」  
各種展開事業の循環を意識します。

### DXで広がる、無限の可能性

新たな技術を活用しながら、事業展開の可能性を広げます。

プロジェクトの内容（展開事業）

各種事業は、コンセプトに基づき企画・運営され、すべての取り組みを同時に推進することで、「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブのまちづくり」の実現を目指します。

また、本プロジェクトは、社会活動における効果の高い事業と評価され、「脱炭素チャレンジカップ2023」で文部科学大臣賞（社会活動分野）を受賞しました。

詳しくはコチラ▼（脱炭素チャレンジカップ2023 HP）  
<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

展開事業は進捗状況に伴い年度ごとに変わります。  
年度別の事業内容は、久山町 HP をご確認ください。

詳しくはコチラ▼（久山町ホームページ）  
[https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/soshiki/keiei\\_design/gyomu/kigyoubanfurusatouzei/index.html](https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/soshiki/keiei_design/gyomu/kigyoubanfurusatouzei/index.html)

展開事業のひとつ

#### 公共施設緑化事業 （Green Design Workshop）



町民ワークショップの様子



緑化された役場ロビー

#### ひさやまてらこや+事業



講座で木の強度を学ぶ子どもたち

問い合わせ

福岡県久山町 経営デザイン課  
（TEL 092-976-1111）